

2023 年度 DPC 調査参加病院向け
H ファイル入力支援ソフト

DB バックアップ機能マニュアル

(株)健康保険医療情報総合研究所

注意事項

ソフトウェアのご利用にあたりましては、以下の内容にご注意ください。

下記のソフトウェアおよびマニュアルは、「DPC 導入の影響評価に係る調査」に参加する医療機関が、データを作成することを支援する目的で配布するものであり、それ以外の目的での利用を禁止しています。

また、調査参加病院以外の医療機関が利用すること、内容に基づいて類似のソフトウェアを開発することを禁止します。

- ・ 「H ファイル入力支援ソフト」
- ・ 「はじめにお読みください～初回導入時設定～」
- ・ 「H ファイル入力支援ソフトマニュアル」
- ・ 「H ファイル入力支援ソフトインストールマニュアル」
- ・ 「H ファイル入力支援ソフト DB バックアップ機能マニュアル」

また、以下の内容は、作業前に必ず確認してください。

- ・ 使用前に本マニュアルをよくお読みになってください。
- ・ お読みになったあとは、いつでもご覧できるように保管してください。
- ・ 本マニュアルでは、当ソフトの設定／使用を行う上で必要となることを記載しております。一般的なパソコンの操作や設定については、お使いのパソコンのマニュアルや市販の書籍等をご覧ください。
- ・ 本マニュアルの内容の無断転載・無断複写を禁止します。
- ・ 内容について、万が一不審な点や誤り、記載漏れ等お気づきのことがありましたら DPC 調査事務局までご連絡ください。
- ・ 必ずコンピュータの管理者権限を持つユーザーで作業を行ってください。
- ・ インストールできない場合は、他の PC でのインストールおよび運用をお勧めいたします。
- ・ 当ソフトは院内の環境設定などにより、動作しない場合があります。完全に動作保証するものではありませんのでご了承ください。
- ・ セットアップ作業には、十分な作業時間を確保したうえで、行ってください。なお、セットアップ時間については、コンピュータのスペックや環境によって異なります。
- ・ 他のシステムやアプリケーションは、作業が完了するまで起動しないでください。
- ・ 起動している場合は、すべて終了させてから作業を開始してください。

目次

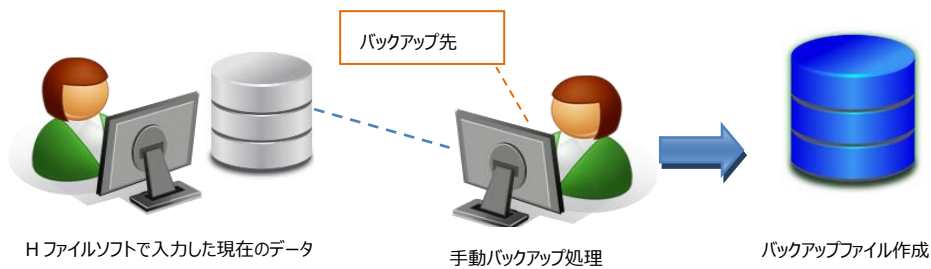
注意事項.....	2
1. 機能概要.....	4
2. バックアップツールの起動.....	5
3. バックアップファイルの作成.....	7
3-1. 手動バックアップ.....	7
3-2. 自動バックアップ.....	10
4. バックアップファイルの復元.....	18
5. Q&A.....	20
5-1. バックアップホーム画面エラー対応.....	20
5-2. 自動バックアップ設定画面エラー対応.....	22

1. 機能概要

データベースバックアップ機能は以下の 3 機能を利用することが可能です。

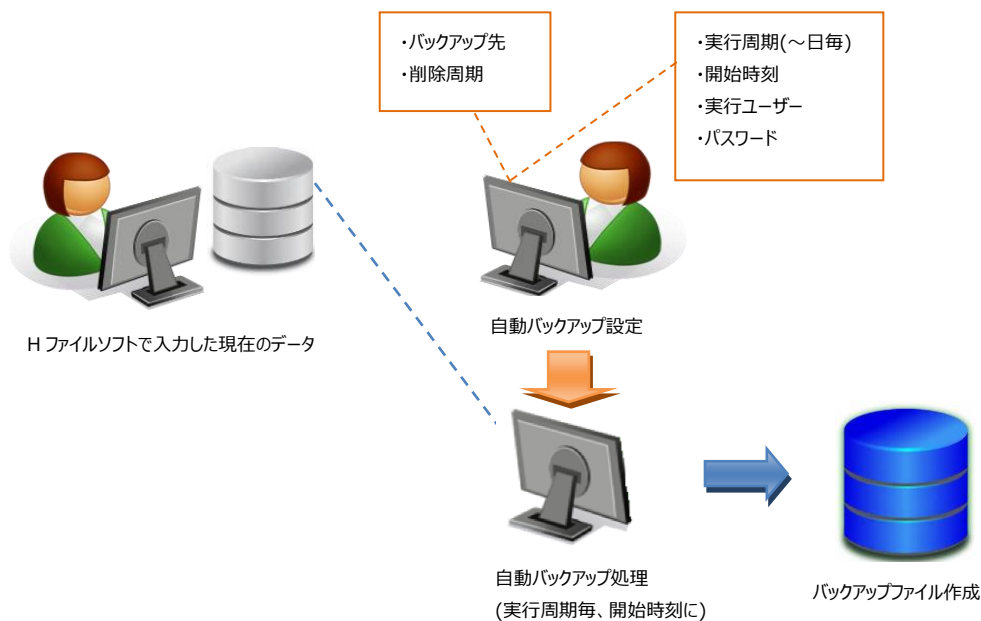
1. バックアップファイルを作成する

入力したデータを元に、バックアップファイルをその場で作成します。



2. 毎日自動で、設定した内容からバックアップファイルを作成する

設定した内容から、バックアップファイルを自動で作成します。



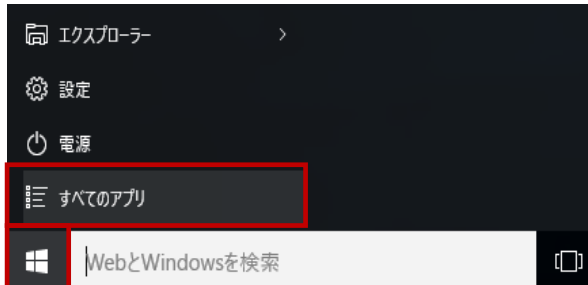
3. バックアップファイルからデータベースを復元する

バックアップファイルからデータベースを復元します(別 PC への移行も可能)

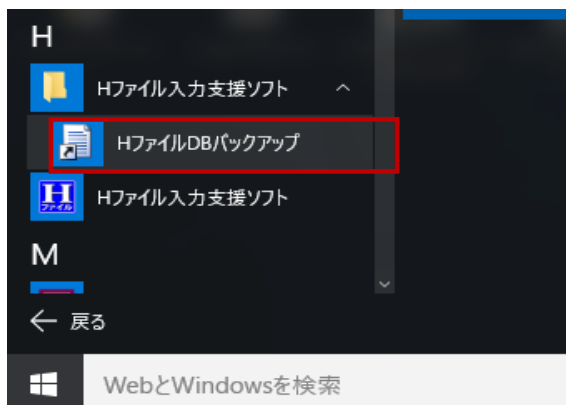


2. バックアップツールの起動

バックアップツールは下記の手順で起動ができます。



- ① スタートボタンをクリックします。
- ② すべてのアプリを開きます。



- ③ H ファイル DB バックアップをクリックします。



- ④ 「H ファイル DB バックアップ処理」画面が表示されます。

■ツール起動方法(インストール先のファイルから起動)

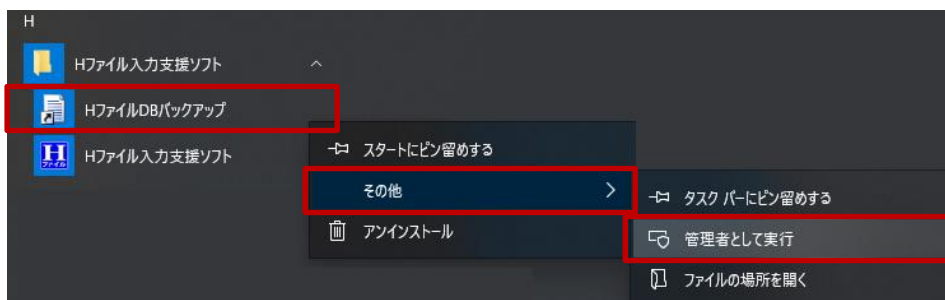
インストール先の「HFileDBBackupTool.exe」を実行してもお使いいただけます。

※管理者として実行する場合は、右クリックメニューから「管理者として実行」を選択してください。



■DB バックアップツールを管理者として実行する方法

- ① 現在、DB バックアップツールを起動している場合は、一度終了します。
- ② Windows のスタートメニューから DB バックアップツールのショートカットを右クリックします。
- ③ 表示された右クリックメニューから「その他」→「管理者として実行」を選択します。
- ④ ユーザーアカウント制御ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。



3. バックアップファイルの作成

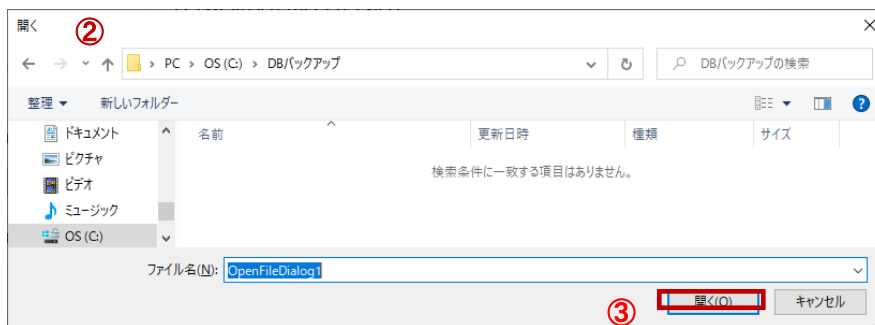
3-1. 手動バックアップ

以下の手順でバックアップファイルの作成ができます。

1. バックアップ先を設定する

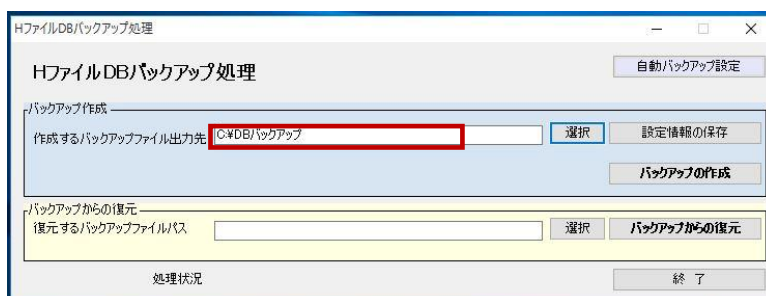


① [選択]ボタンをクリックします。



② バックアップ先のフォルダへ移動します。

③ [開く]ボタンをクリックします。



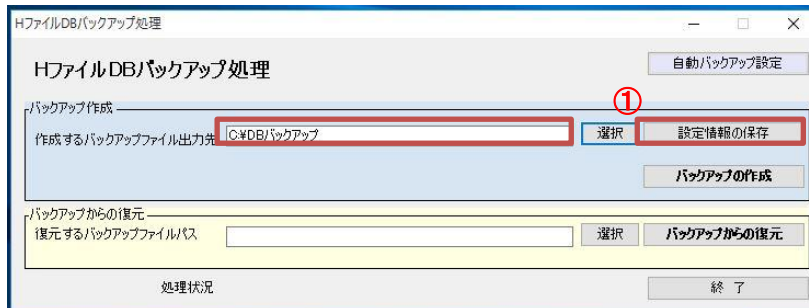
④ 出力先が設定されます。

【注意】フォルダの権限について

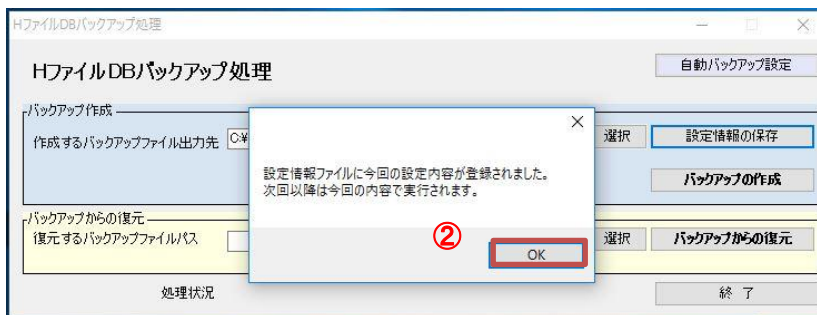
バックアップ先のフォルダは、現在 PC にログインしているユーザーに対して、書き込み権限があるフォルダを設定してください。

2. 現在の設定情報を保存する

ファイルの出力先を次回以降も使用したい場合、設定情報を保存することが可能です。

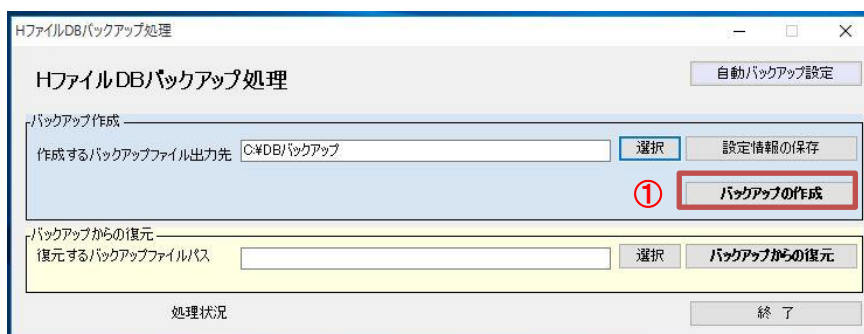


① バックアップ先を設定した状態で、[設定情報の保存]ボタンをクリックします。

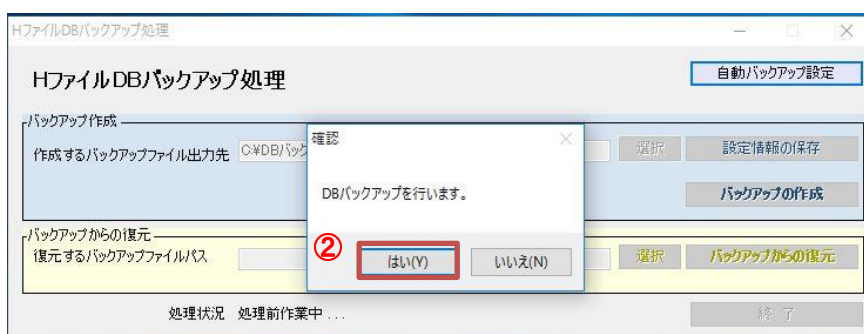


② 設定の保存完了メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

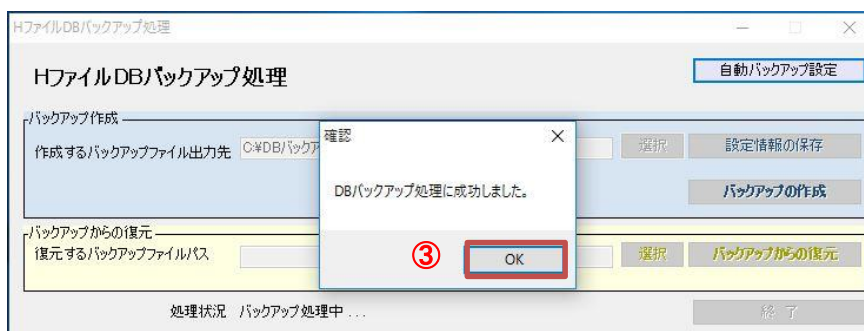
3. バックアップを実行する



① [バックアップの作成]ボタンをクリックします。



② DB バックアップの確認メッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



③ バックアップ成功メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



④ 初回実行時はバックアップの出力先フォルダを開き、「実行した日付時刻_H 入力支援.bak」のバックアップファイルが作成されたかご確認ください。
※また、復元を行う場合は上記の「実行した日付時刻_H 入力支援.bak」を復元先の PC へ移動させてください。

3-2. 自動バックアップ

■ 自動バックアップ概要説明

- ① PC で決められた時間にプログラムを実行する設定を登録することで、実行周期毎、開始時刻にバックアップ処理を行う設定を行うことができます。



HファイルDB自動バックアップ設定

Hファイル入力支援ソフトのDBを定期的にバックアップするよう設定を行います。
必要のない場合は戻るボタンを押下し、終了してください。

設定方法 自動バックアップ設定の枠内を入力し、設定ボタンを押下してください。

自動バックアップ設定

作成するバックアップファイル出力先
C:\Users\test\Desktop 選択

バックアップファイル削除の周期
1 日以上前のものは削除 (0の場合は削除せず)

実行周期 1 日ごとに実行 開始時刻 09:48

実行ユーザー test (ユーザー名またはドメイン名\ユーザー名)
パスワード ****

実行ユーザーに求められる条件

- ① この使用のコンピュータに対して管理者の権限、または「バッチジョブとしてログオン」が有効なユーザー
- ② バックアップファイル出力先に対してファイル書き込み権限が設定済み

注意 : ・自動バックアップを設定された場合、登録済バックアップ確認ボタンから自動バックアップが正常に登録されたか必ず確認してください。
・自動バックアップ設定後に実行ユーザーのパスワードを変更された場合は、再度の自動バックアップ設定が必要です。

登録済 バックアップ確認

設定 解除

戻る

- ② 実行周期、開始時刻になると、自動的にバックアップが起動し、現在の H ファイルデータを元にバックアップファイルを作成します。



PC > OS (C:) > PRRISM > Hファイル入力支援ソフト			
名前	更新日時	種類	サイズ
H入力支援.sdf	2021/10/12 10:16	SQL Server Compact ...	576 KB

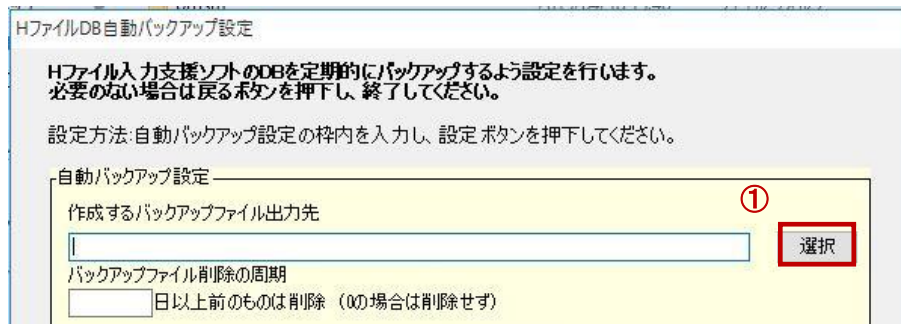
PC > OS (C:) > DB/バックアップ			
名前	更新日時	種類	サイズ
20211019160251_H入力支援.bak	2021/10/12 10:16	BAK ファイル	576 KB

1. DB 自動バックアップ設定機能を起動する

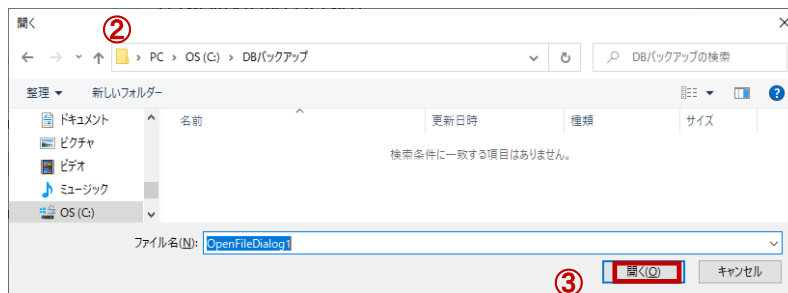
① [自動バックアップ設定]ボタンをクリックします。

② 「H ファイル DB 自動バックアップ設定」画面が起動します。

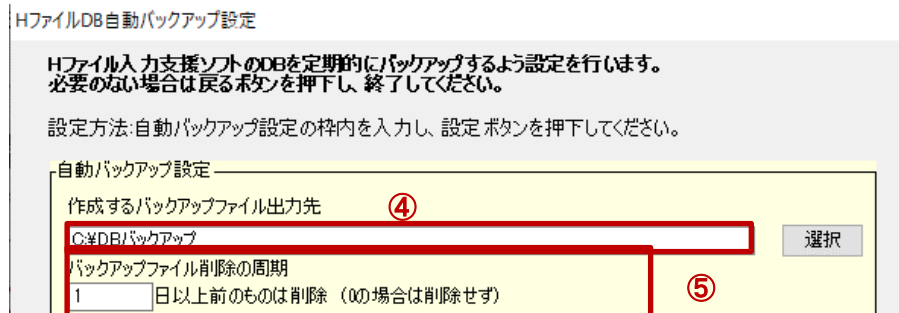
2. 自動バックアップ設定情報を入力する



- ① [選択]ボタンをクリックします。



- ② バックアップ先のフォルダへ移動します。
③ [開く]ボタンをクリックします。



- ④ 出力先が設定されます。
⑤ 削除周期を入力します。

HファイルDB自動バックアップ設定

Hファイル入力支援ソフトのDBを定期的にバックアップするよう設定を行います。
必要のない場合は戻るボタンを押下し、終了してください。

設定方法:自動バックアップ設定の枠内を入力し、設定ボタンを押下してください。

自動バックアップ設定

作成するバックアップファイル出力先
C:\DB\バックアップ 選択

バックアップファイル削除の周期
1 日以上前のものは削除 (0の場合は削除せず) ⑥

実行周期 1 日ごとに実行 開始時刻 16:55

実行ユーザー test (ユーザー名 または ドメイン名¥ユーザー名)

パスワード *****

実行ユーザーに求められる条件

① ご使用のコンピューターに対して管理者の権限、または“バッチジョブとしてログオン”が有効なユーザー
② バックアップファイル出力先に対してファイル書き込み権限が設定済み

注意 : ・自動バックアップを設定された場合、登録済バックアップ確認ボタンから
自動バックアップが正常に登録されたか必ず確認してください。
・自動バックアップ設定後に実行ユーザーのパスワードを変更された場合は、
再度の自動バックアップ設定が必要です。

登録済
バックアップ確認

⑦ 設定 解除

戻る

⑥ スケジュール情報を入力します。また以下の項目は必須入力となります。

- ・実行周期(1 日～365 日)、開始時刻(00:00～23:59)
 - ・実行ユーザー(現在 PC にログインしているユーザー名)
 - ・パスワード(PC ログイン時のパスワード)
- (例:①ユーザー名、または②ドメイン名¥ユーザー名)

⑦ 設定ボタンをクリックします。

【注意】 バックアップの設定について

- ・他のユーザーにより自動バックアップが設定されている場合には設定を行う事ができません。その場合は、自動バックアップを設定しているユーザーでログイン後に再度設定作業を行ってください。
- ・自動バックアップ設定後に実行ユーザーのパスワードを変更された場合は、再度の自動バックアップ設定が必要です。
- ・**自動バックアップは、設定した時間に PC が起動されていないと実行されません。ご注意の上、PC が起動している時刻に開始時刻を設定してください。**

HファイルDB自動バックアップ設定

Hファイル入力支援ソフトのDBを定期的にバックアップするよう設定を行います。
必要のない場合は戻るボタンを押下し、終了してください。

設定方法:自動バックアップ設定の枠内を入力し、設定 ボタンを押下してください。

自動バックアップ設定

作成するバックアップファイル出力先
C:\DB\バックアップ 選択

バックアップファイル削除の周期
1 日以上前のものは削除 (0の場合は削除せず)

実行周期 1 日

実行ユーザー test (イン名ユーザー名)

パスワード *****

実行ユーザーに求められる条件

① ご使用のコンピュータにバックアップを実行する権限が設定済み

② バックアップファイル出力先に対してファイル書き込み権限が設定済み

注意 : ・自動バックアップを設定された場合、登録済バックアップ確認ボタンから自動バックアップが正常に登録されたか必ず確認してください。
・自動バックアップ設定後に実行ユーザーのパスワードを変更された場合は、再度の自動バックアップ設定が必要です。

はい(Y) いいえ(N)

登録済バックアップ確認

設定 解除

戻る

- ⑧ 設定確認メッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

HファイルDB自動バックアップ設定

Hファイル入力支援ソフトのDBを定期的にバックアップするよう設定を行います。
必要のない場合は戻るボタンを押下し、終了してください。

設定方法:自動バックアップ設定の枠内を入力し、設定 ボタンを押下してください。

自動バックアップ設定

作成するバックアップファイル出力先
C:\DB\バックアップ 選択

バックアップファイル削除の周期
1 日以上前のものは削除 (0の場合は削除せず)

実行周期 1 日

実行ユーザー test (イン名ユーザー名)

パスワード *****

実行ユーザーに求められる条件

① ご使用のコンピュータにバックアップを実行する権限が設定済み

② バックアップファイル出力先に対してファイル書き込み権限が設定済み

注意 : ・自動バックアップを設定された場合、登録済バックアップ確認ボタンから自動バックアップが正常に登録されたか必ず確認してください。
・自動バックアップ設定後に実行ユーザーのパスワードを変更された場合は、再度の自動バックアップ設定が必要です。

OK

登録済バックアップ確認

設定 解除

戻る

- ⑨ 設定完了メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

HファイルDB自動バックアップ設定

Hファイル入力支援ソフトのDBを定期的にバックアップするよう設定を行います。
必要のない場合は戻るボタンを押下し、終了してください。

設定方法:自動バックアップ設定の枠内を入力し、設定ボタンを押下してください。

自動バックアップ設定

作成するバックアップファイル出力先
C:\DB\バックアップ 選択

バックアップファイル削除の周期
1 日以上前のものは削除 (0の場合は削除せず)

実行周期 1 日ごとに実行 開始時刻 16:55

実行ユーザー test (ユーザー名またはドメイン名\ユーザー名)

パスワード *****

実行ユーザーに求められる条件

① ご使用のコンピュータに対して管理者の権限、または” バッチジョブとしてログオン” が有効なユーザー
② バックアップファイル出力先に対してファイル書き込み権限が設定済み

注意 : ・自動バックアップを設定された場合、登録済みバックアップ確認ボタンから
・自動バックアップが正常に登録されたか必ず確認してください。
・自動バックアップ設定後に実行ユーザーのパスワードを変更された場合は、
再度の自動バックアップ設定が必要です。

登録済み
バックアップ確認

設定 解除 ⑩

戻る

⑩ バックアップの設定を確認したい場合、登録済みバックアップ確認ボタンをクリックします。

HファイルDB自動バックアップ設定

Hファイル入力支援ソフトのDBを定期的にバックアップするよう設定を行います。
必要のない場合は戻るボタンを押下し、終了してください。

設定方法:自動バックアップ設定の枠内を入力し、設定ボタンを押下してください。

自動バックアップ設定

作成するバックアップファイル出力先
C:\DB\バックアップ 選択

バックアップファイル削除の周期
1 日以上前のものは削除

実行周期 1 日ごとに実行

実行ユーザー test (ユーザー名またはドメイン名\ユーザー名)

パスワード *****

実行ユーザーに求められる条件

① ご使用のコンピュータに対して管理者の権限、または” バッチジョブとしてログオン” が有効なユーザー
② バックアップファイル出力先に対してファイル書き込み権限が設定済み

注意 : ・自動バックアップを設定された場合、登録済みバックアップ確認ボタンから
・自動バックアップが正常に登録されたか必ず確認してください。
・自動バックアップ設定後に実行ユーザーのパスワードを変更された場合は、
再度の自動バックアップ設定が必要です。

登録済み
バックアップ確認

設定 解除

戻る

⑪

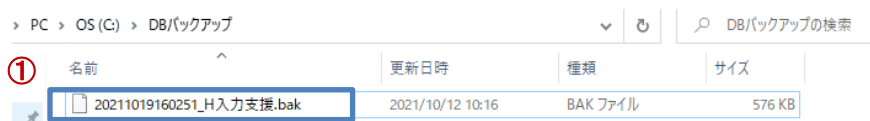
タスク名:AutoBackupDB_Hfile
前回実行日時:未実行
次回実行日時:2021/10/20 16:55:00
実行間隔:1日
開始時刻:16:55

OK

⑪ メッセージが表示され、自動バックアップの登録内容が確認できます。

4. 自動バックアップの実行

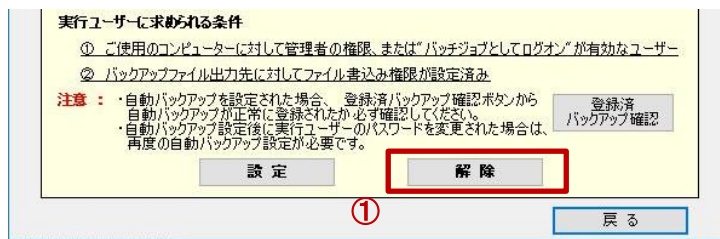
設定された時間になるとバックアップが自動で生成されます。
初回実行時は、バックアップファイルが作成されたかご確認ください。



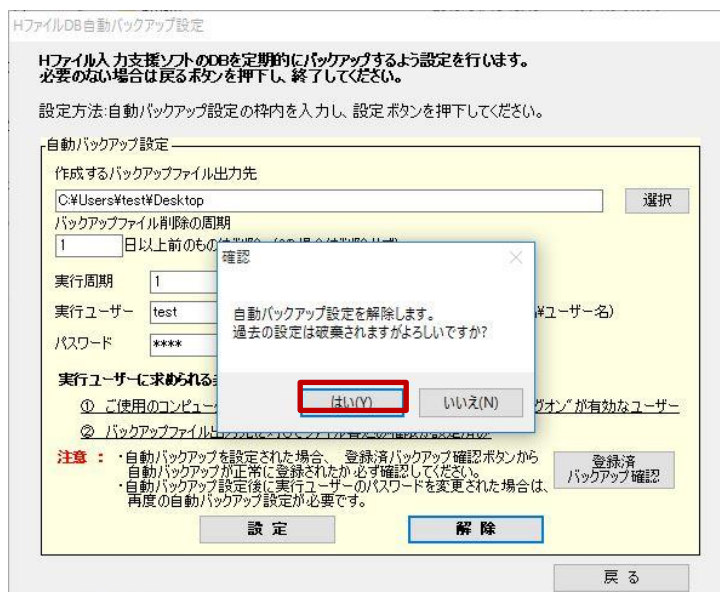
DB/バックアップ			
名前	更新日時	種類	サイズ
20211019160251_H入力支援.bak	2021/10/12 10:16	BAK ファイル	576 KB

- ① バックアップの出力先フォルダを開き、「実行した日付時刻_H 入力支援.bak」が存在することを確認してください。

5. 自動バックアップ解除



- ① 解除ボタンをクリックします。



- ② 解除確認メッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

【注意】解除の制限について

他ユーザーにより自動バックアップが設定されている場合は解除を行う事ができません。
その場合は、自動バックアップを設定しているユーザーでログイン後に再度解除作業を行ってください。

以上で、バックアップ元のコンピュータでの作業は完了となります。
復元作業を行われる場合は、作成されたバックアップデータファイルを復元先の PC に移動し、次章の復元作業を行ってください。

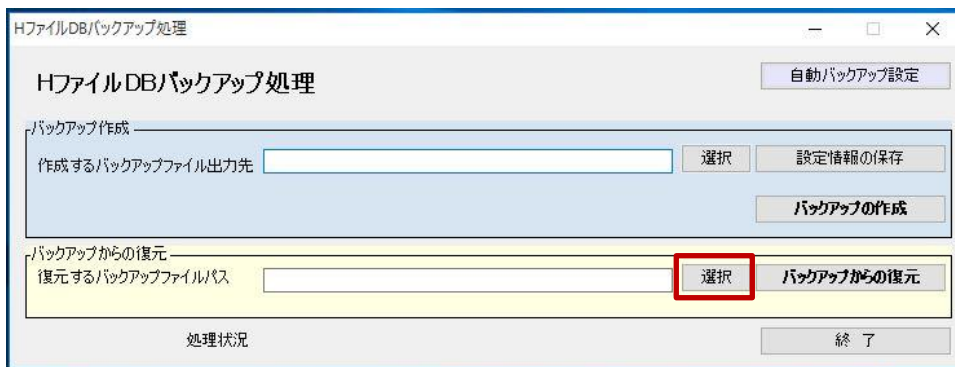
4. バックアップファイルの復元

【注意】 PC 移行後の復元について

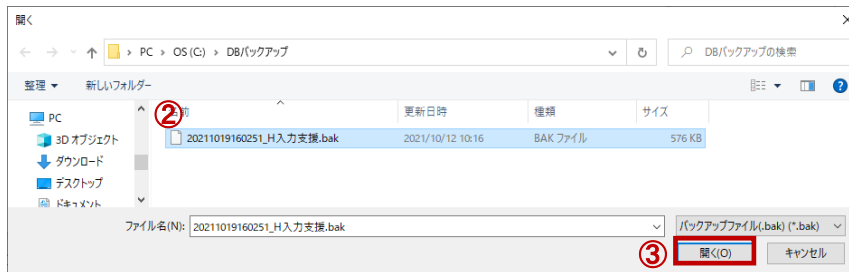
PC 移行作業などの時に、移行元の PC でバックアップファイルを作成している場合、そのバックアップファイルを利用することでデータを復元することが可能になります。
※復元を行う際は移行先 PC で、H ファイル入力支援ソフトの新規インストールを行っていただく必要があります。

以下の手順に従い、バックアップファイルからの復元を行ってください。

1. 復元するバックアップファイルを選択する



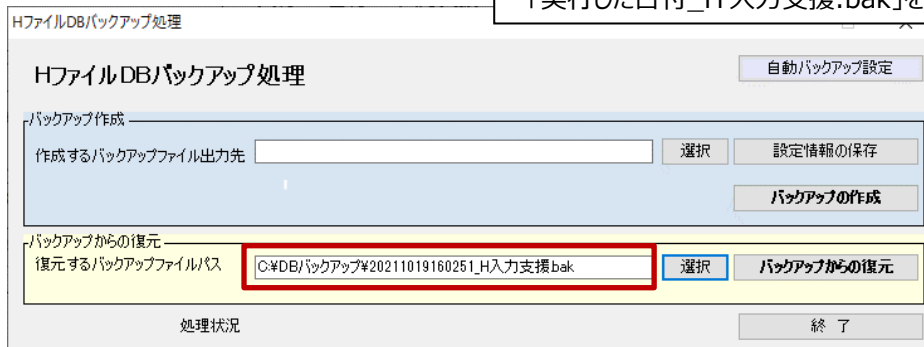
① [選択]ボタンをクリックします。



② バックアップファイルを選択します。

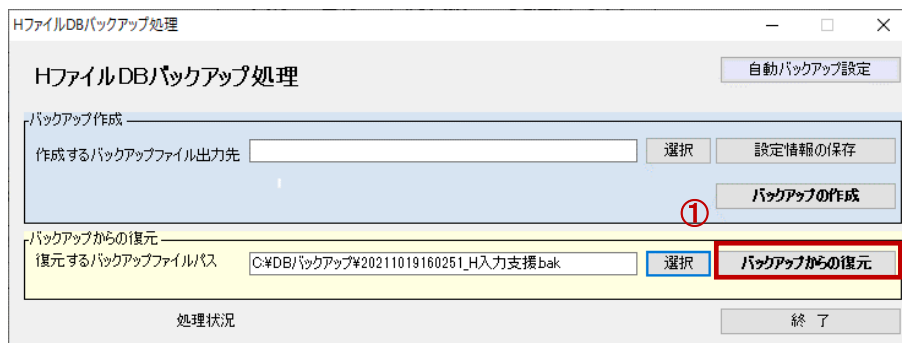
③ [開く]ボタンをクリックします。

PC 移行の場合は、移行元の PC から移動してきた「実行した日付_H 入力支援.bak」を選択します。

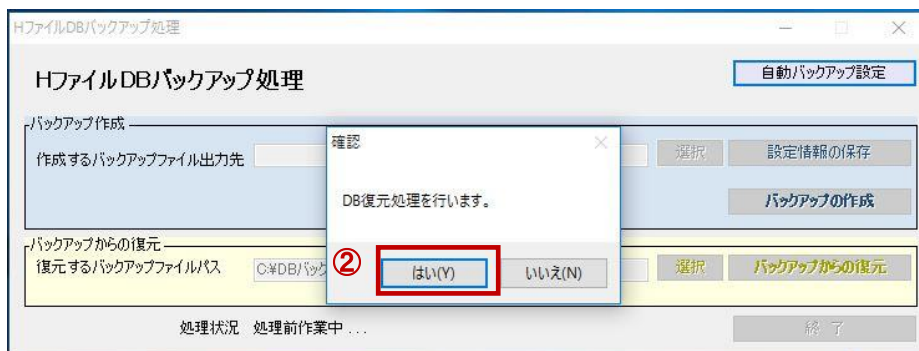


④ 該当ファイルが選択されます。

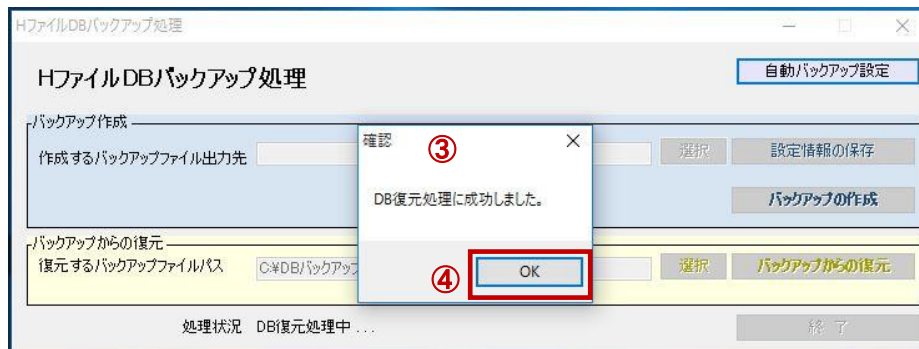
2. 復元を実行する



- ① [バックアップからの復元]ボタンをクリックし、処理を開始します。



- ② 確認メッセージが表示されたら[はい]ボタンをクリックします。

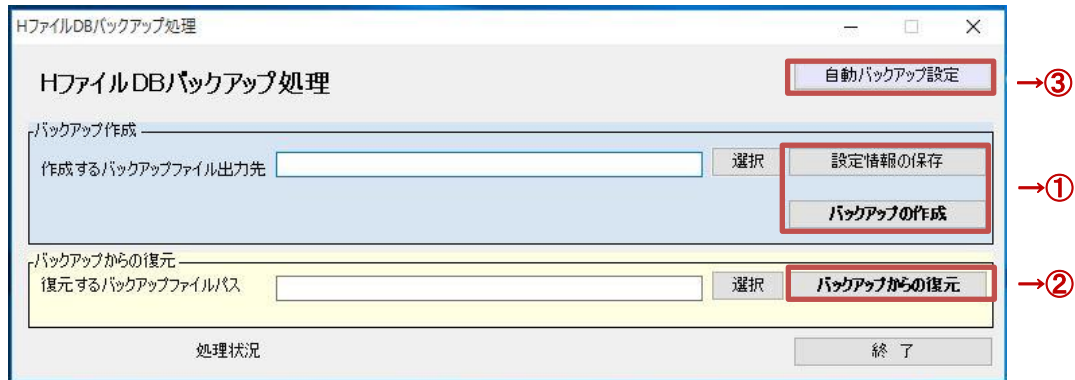


- ③ 復元が開始され、完了後にメッセージが表示されます。
④ 完了メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

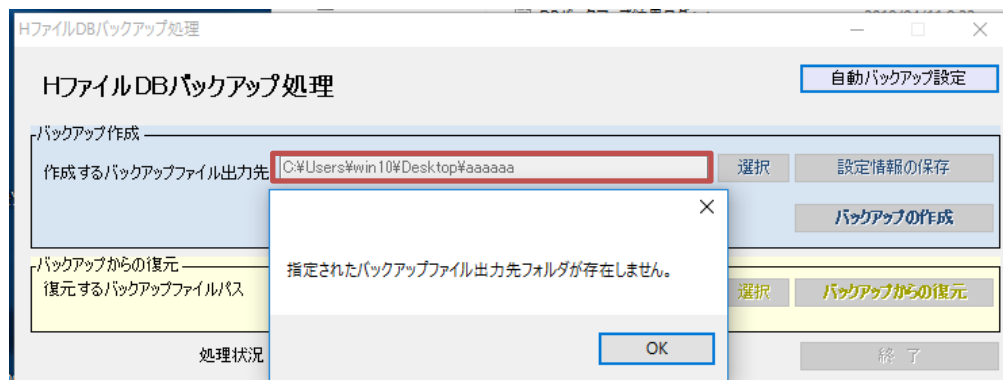
以上で、復元先のコンピュータでバックアップファイルを復元する手順は終了となります。
復元作業後、Hファイル入力支援ソフトを起動して、バックアップ前のデータが正しく復元できているかご確認ください。

5. Q&A

5-1. バックアップホーム画面エラーについて

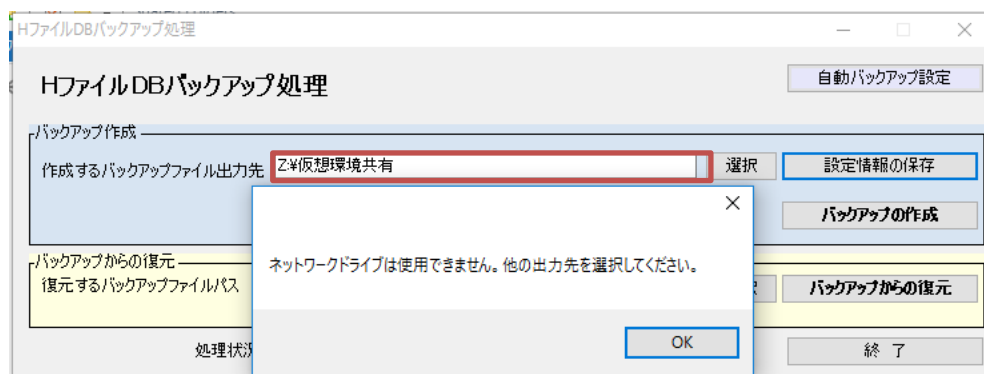


① バックアップファイル出力先設定エラー



対応方法

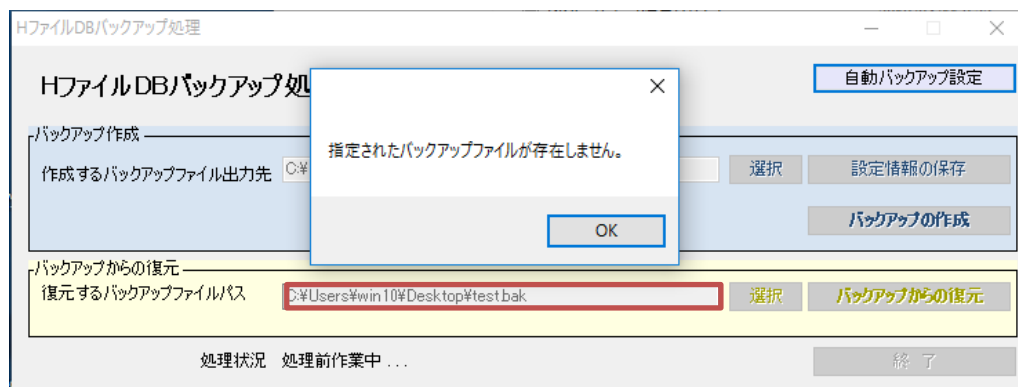
バックアップファイル出力先は、存在するフォルダを選択、または入力してください。



対応方法

バックアップファイル出力先は、ローカルドライブのフォルダを指定してください。

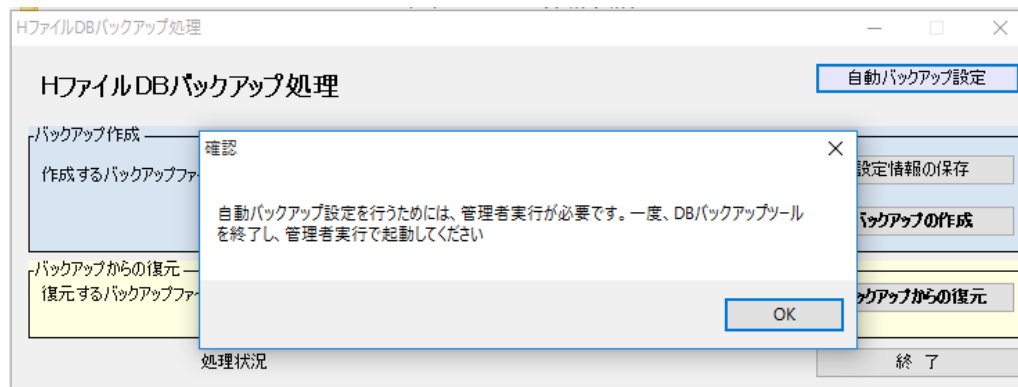
②復元するバックアップファイルパス設定エラー



対応方法

復元するバックアップファイルパスは、存在するファイルパスを入力してください。

③「自動バックアップ設定ボタン」押下エラー



対応方法

自動バックアップ設定を行う場合は、管理者権限のあるユーザーで実行してください。

※ [■DB バックアップツールを管理者として実行する方法](#)

5-2. 自動バックアップ設定画面エラーについて

HファイルDB自動バックアップ設定

Hファイル入力支援ソフトのDBを定期的にバックアップするよう設定を行います。
必要のない場合は戻るボタンを押下し、終了してください。

設定方法:自動バックアップ設定の枠内を入力し、設定ボタンを押下してください。

自動バックアップ設定

作成するバックアップファイル出力先
C:\Users\Test\Desktop 選択

バックアップファイル削除の周期
1 日以上前のものは削除 (0の場合は削除せず)

実行周期 1 日ごとに実行 開始時刻 09:40

実行ユーザー test (ユーザー名またはドメイン名\ユーザー名)

パスワード ****

実行ユーザーに求められる条件

① ご使用のコンピュータに対して管理者の権限、または「バッチジョブとしてログオン」が有効なユーザー
② バックアップファイル出力先に対してファイル書き込み権限が設定済み

注意 : ・自動バックアップを設定された場合、登録済バックアップ確認ボタンから
自動バックアップが正常に登録されたか必ず確認してください。
・自動バックアップ設定後に実行ユーザーのパスワードを変更された場合は、
再度の自動バックアップ設定が必要です。

登録済
バックアップ確認

設定 解除

→①②③④ →⑤

戻る

① バックアップファイル出力先設定エラー

HファイルDB自動バックアップ設定

Hファイル入力支援ソフトのDBを定期的にバックアップするよう設定を行います。
必要のない場合は戻るボタンを押下し、終了してください。

設定方法:自動バックアップ設定の枠内を入力し、設定ボタンを押下してください。

自動バックアップ設定

作成するバックアップファイル出力先
C:\Users\win10\Desktop\aaaaaa 選択

バックアップファイル削除の周期
6 日以上前のものは削除 (0の場合は削除せず)

実行周期 1

実行ユーザー te (ユーザー名)

パスワード **

実行ユーザーに求

① ご使用の

② バックアップファイル出力先に対してファイル書き込み権限が設定済み

注意 : ・自動バックアップを設定された場合、登録済バックアップ確認ボタンから
自動バックアップが正常に登録されたか必ず確認してください。
・自動バックアップ設定後に実行ユーザーのパスワードを変更された場合は、
再度の自動バックアップ設定が必要です。

登録済
バックアップ確認

設定 解除

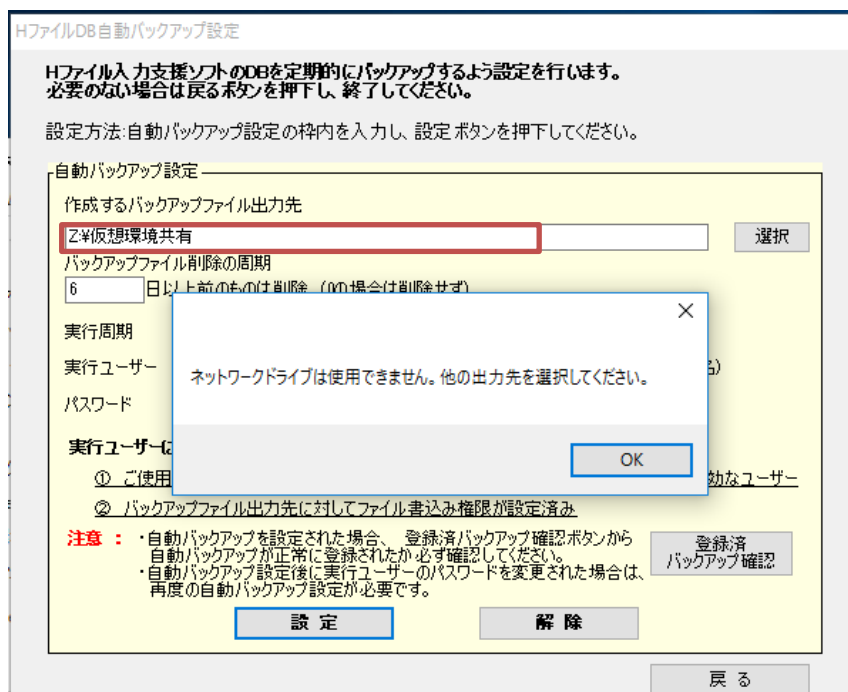
戻る

指定されたバックアップファイル出力先フォルダが存在しません。

OK

対応方法

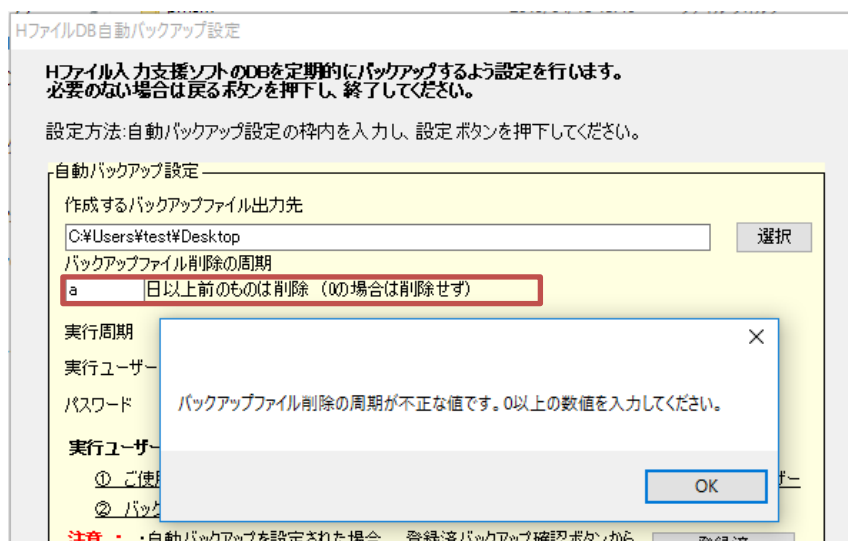
バックアップファイル出力先は、存在するフォルダを選択、または入力をしてください。



対応方法

バックアップファイル出力先は、ローカルドライブのフォルダを指定してください。

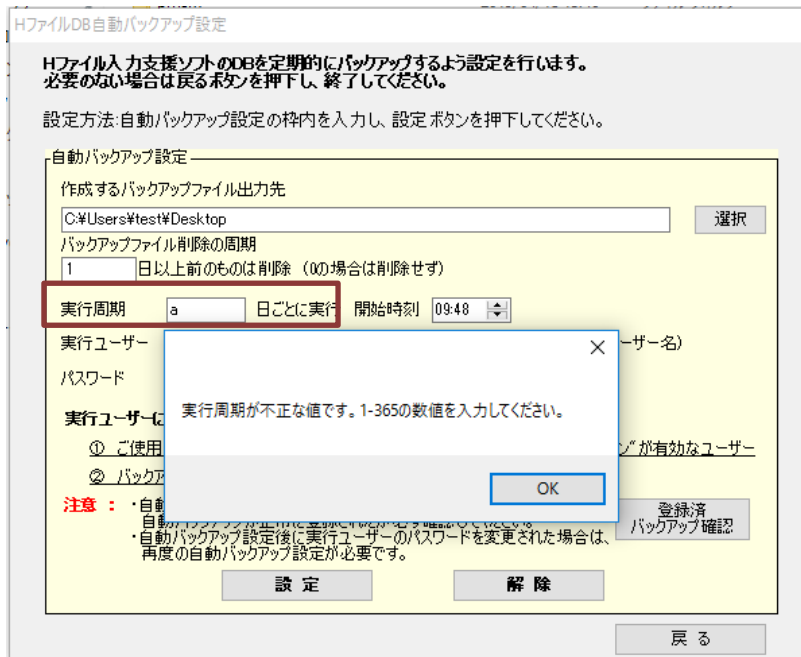
②バックアップファイル削除の周期設定エラー



対応方法

バックアップファイル削除の周期は、0 以上の数値を入力してください。

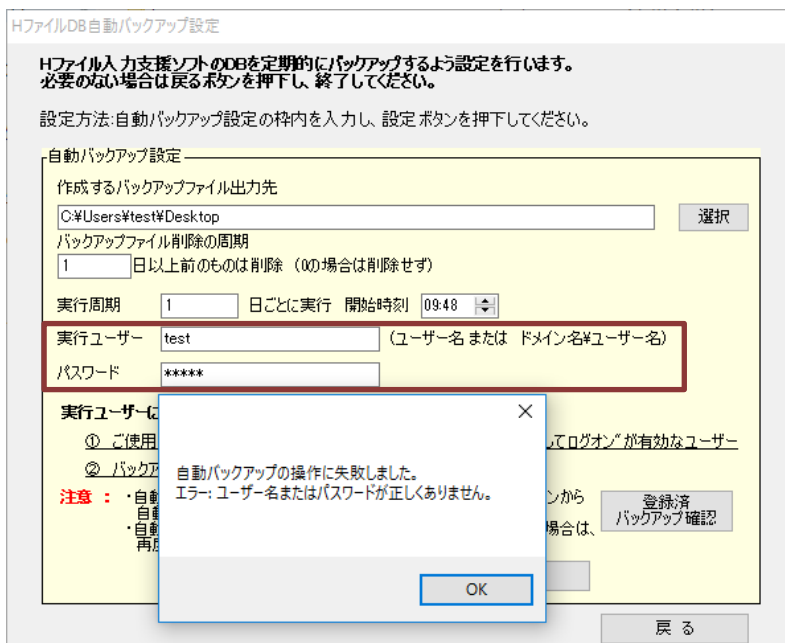
③ 実行周期設定エラー



対応方法

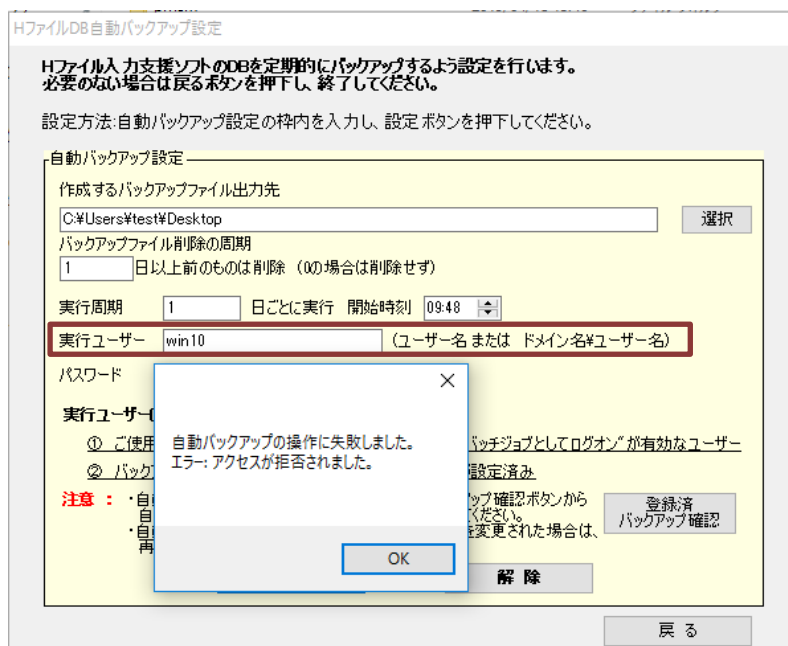
実行周期は、1 以上 365 以下の数値を入力してください。

④ 実行ユーザー、パスワード設定エラー



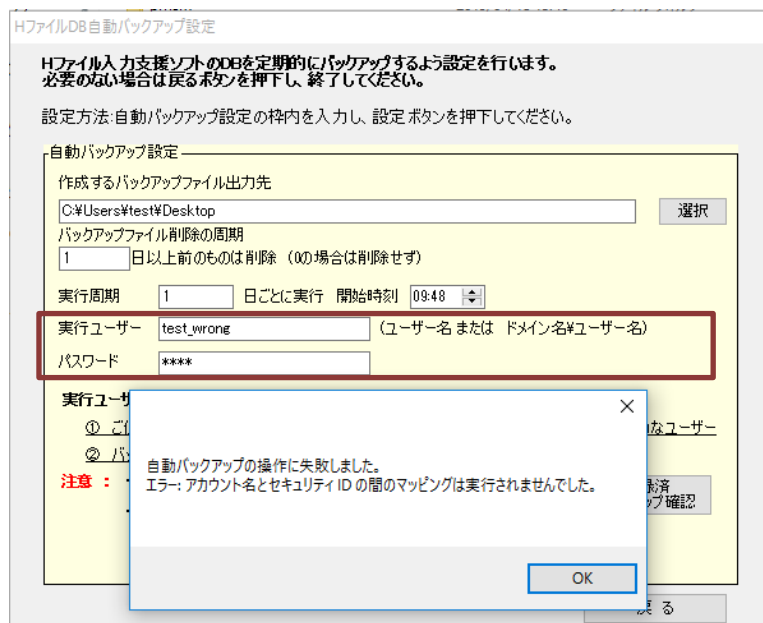
対応方法

正しい実行ユーザー、パスワードを入力してください。



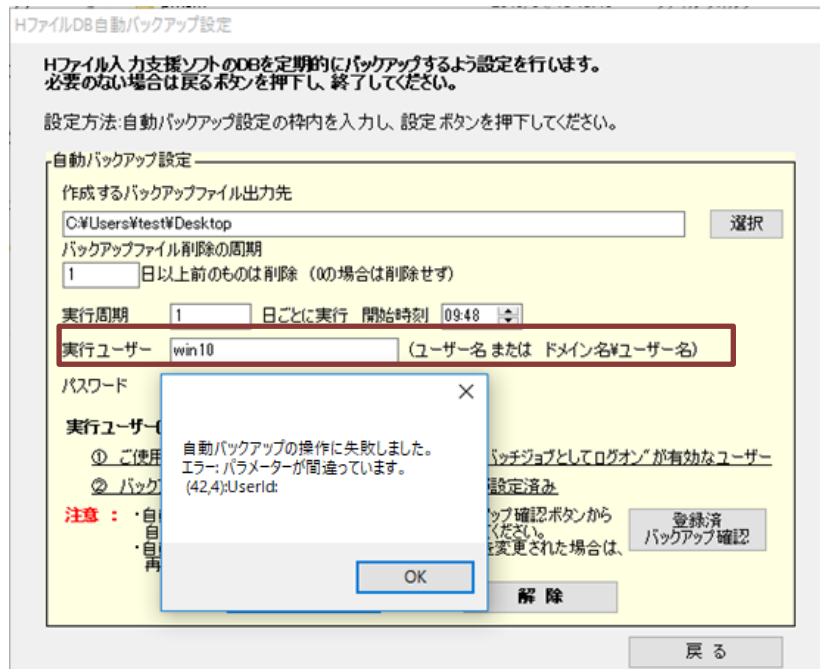
対応方法

実行ユーザーは、現在のソフト起動ユーザーを入力してください。
(起動ユーザーとは別ユーザーを指定することはできません。別ユーザーで自動バックアップを実行する場合はそのユーザーでログインし、設定をしてください。)



対応方法

入力しているユーザー名が誤っていないか、存在しないユーザーを入力していないか確認してください。



対応方法

入力しているユーザー名やドメイン名が誤っていないか確認してください。

【注意】変更されたユーザー名について

使用している PC において、以前にユーザーアカウント名の変更を行っている場合、自動バックアップ設定時の実行ユーザーに現在 PC にログインしているユーザー名を入れても、上記エラーとなる場合があります。

この場合、下記手順から PC で実際に登録されているユーザー名を確認し、そのユーザー名を自動バックアップ設定の実行ユーザーに入力してください。

■PC ログインユーザー名確認方法

- ① コマンドプロンプトを起動し、「whoami」と入力した後、[Enter]をクリックします。
- ② 出力された文字列(ドメイン名¥ユーザー名)の最後の「¥」以降の文字がユーザー名になります。

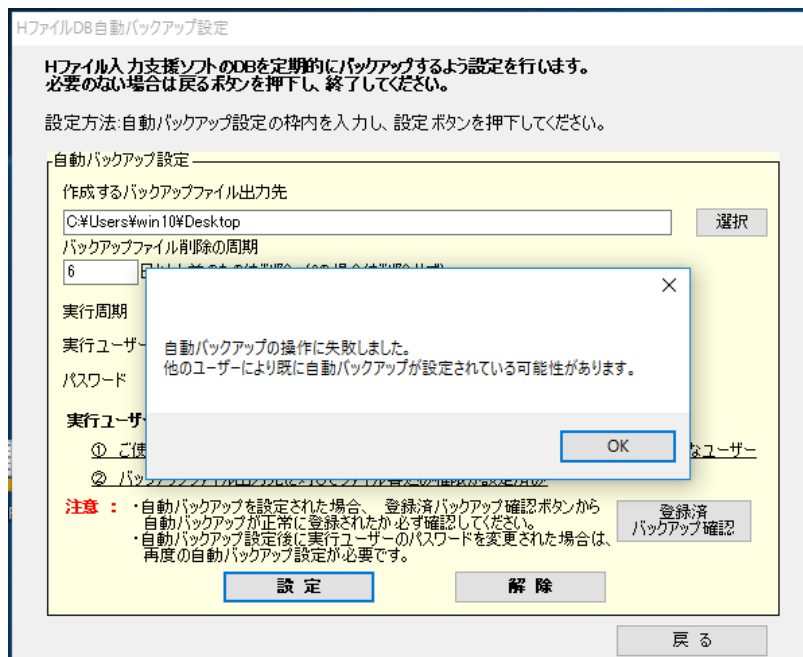
```
C:\Users\testuser>whoami
domain\pcname\testuser
```

※ドメインがない場合は(コンピューター名¥ユーザー名)が表示されます。

※コマンドプロンプトの起動方法

- ① スタートボタンをクリックします。
- ② アプリ一覧から[Windows システムツール]をクリックします。
- ③ 上述の操作で開いたシステムツールより、[コマンドプロンプト]をクリックします。
- ④ コマンドプロンプト画面が表示されます。

⑤「設定ボタン」「解除ボタン」押下エラー



対応方法

既に自動バックアップ設定を登録しているユーザーで PC をログインしなおして、自動バックアップ設定の解除を行ってください。その後、登録したいユーザー再ログインして再度設定を行ってください。

※登録済みの自動バックアップ設定は、登録時のユーザーしか解除ができません。